

健康と医療についてゲストに語っていただくコーナーです

いきいきゼミナール

テーマ「健康診断で『肝障害』を指摘されたら…」
 ゲスト 福住内科クリニック 佐藤 康裕 院長



硬変に至ります。薬物性肝障害はかぜ薬などにより一時的に起きるケースのほか、常用している薬で慢性的に起きていることもあり、この場合は薬の中止や変更が必要になります。サプリメントや漢方薬で生じることもあります。

—病院を受診せずに、ダイエットや節酒をして様子を見ていても大丈夫ですか。

専門医による治療が必要な疾患が見つかることもあります。「脂肪肝だろう」「お酒のせいだろう」と自己判断せず医療機関を受診してください。ウイルス性肝炎がその一つです。B型やC型の肝炎ウイルスは血液を介して感染します。以前は出生時の母子感染、汚染された血液製剤、注射の回し打ちなどが原因となりましたが、現在は十分な感染対策がなされています。不衛生な入れ墨やピアスの穴あけ、性行為などが原因となりますが、感染機会が明確でなく、本人が気付いていないケースもあります。B型肝炎ウイルスは乳幼児期に感染すると持続感染となり、C型肝炎ウイルスは

感染時期によらず70%ほどが持続感染し、慢性肝炎を引き起こします。慢性肝炎は症状が乏しく、気が付かないまま長年放置していると肝硬変に至り、さらには肝臓がんを発症する恐れもあります。ウイルス性肝炎の他にも肝臓の腫瘍や肝臓の中を流れる胆管の腫瘍がエコーなどの検査によって発見されることもあります。また免疫の異常による自己免疫性肝疾患や甲状腺機能の異常による肝障害などが見つかることもあります。肝臓は「沈黙の臓器」といわれ自覚症状が出にくいいため、健診が肝疾患発見の重要な機会になります。

病院訪問

福住内科クリニック

高血圧、脂質異常症、糖尿病などの生活習慣病のほかに、食道、胃、大腸、肝臓、胆のう、すい臓などの消化器疾患を中心に診療。肝臓の診察なども行っております。休日、夜間も診療しており、東豊線福住駅直結という立地で通院にも便利です。



▲外観



住所/札幌市豊平区福住2条1丁目2-5
 イトーヨーカドー福住店5F
 電話番号/011-836-3531
 診療受付/月～金曜 9:30～12:30
 14:00～19:30
 土・日曜、祝日 9:30～17:00
 休診日/不定期(年10日間)お問い合わせ下さい
 ▲待合室 理事長/田中 浩

企画制作/北海道新聞社営業局